

団体名		公益財団法人 武蔵野文化事業団				
① 事業 内容	指標名	市民満足度			目標値 ・アンケート項目の見直しによる市民満足度指標の設定 ・多様な場や形態での事業展開	
	過去の実績 (単位: )	平成27年度	平成28年度	平成29年度	(過去の実績についての説明) 新たな目標値設定のため過去の実績はない ※平成29年度まではチケット完売を目標値	
	財政援助出資団体に対する指導監督の基本方針(平成21年2月改正)の具体的な取組の該当項目		(2) 事業評価の導入と事務事業の見直し			
	設定理由等	※指標、目標値の設定理由等について記入してください。 「文化芸術基本法」「劇場、音楽堂等の活性化に関する法律」など国の動きや、現在策定中の市の「文化振興基本方針」の方向性などを視野に入れ、より幅広い市民が芸術文化に触れられる機会の創出が求められている。従来の公演事業に加え、より幅広い市民に参加いただける事業の充実を図る。加えて市民の満足を確認するため、アンケート項目の見直しを検討し、平成30年度から満足度の指標化を導入する。				
	取組内容	※目標達成のための具体的な取組内容等について記入してください。 ①市民に提供する事業の見直しをおこなう。 ②平成31年度以降の長いスパンで芸術文化の推進を見据えるため、中長期事業計画を策定する。 ③子どもを主な対象としたワークショップや親子向け事業など、鑑賞だけにとどまらない形で、芸術文化に触れる機会を創出する。 ④これまでの高いチケット完売率も維持できるよう、公演内容を深めるとともに、意図を市民にわかりやすく伝え、市報、アルテ友の会Informationのみに頼らない広報宣伝手法を開発し、これまで芸術文化にあまり関心のなかった層へのアプローチにも努める。 ⑤独自招聘事業など、魅力ある事業のさらなる充実も図る。 ⑥利用者が施設を使いやすい環境を作り、満足度に現れるよう努める。 ⑦公演来場者数の増と満足度向上のためのアンケートのあり方を検討する。				
② 財務 内容	指標名	事業収益 (入場料収益、その他事業収益、物品販売収益)			目標値 177,174千円	
	過去の実績 (単位:千円)	平成27年度 171,856	平成28年度 78,330	平成29年度 222,370	(過去の実績についての説明) 平成28年度は休館中につき、入場料収益が少なかった。また、平成29年度より、吉祥寺美術館のミュージアムショップ売り上げを、事業団の歳入とすることになった。	
	財政援助出資団体に対する指導監督の基本方針(平成21年2月改正)の具体的な取組の該当項目		(4) 団体職員の人材育成と財政基盤の強化			
	設定理由等	※指標、目標値の設定理由等について記入してください。 事業団の自律性確保のため、安定した収入につながる事業展開を図る。28年度は工事による休館、29年度はリニューアルイヤーという特殊な要因もあったことから、27年度を参考に、目標値を設定した。あわせて効率的で安定的な運営のため、支出の抑制を図る。				
	取組内容	※目標達成のための具体的な取組内容等について記入してください。 ①事業収入の増を図るため、公演の価値に見合う料金体系の検討を行う。独自招聘事業及び他の文化施設とネットワーク事業、ミュージアムショップ運営などを着実に実施する。 ②支出については、効率的な予算執行のため、次年度以降にもつながる委託等の競争入札の実施など引続き取り組みを進め、支出減に努める。				
③ 内部 部 管 理 内容	指標名	職員研修の本数及び参加率			目標値 研修本数7本、参加率100%	
	過去の実績 (単位: )	平成27年度	平成28年度	平成29年度	(過去の実績についての説明) 新たな目標値設定のため、過去の実績については把握していない。	
	財政援助出資団体に対する指導監督の基本方針(平成21年2月改正)の具体的な取組の該当項目		(4) 団体職員の人材育成と財政基盤の強化			
	設定理由等	※指標、目標値の設定理由等について記入してください。 今後の事業団の在り方、役割を見据え、それぞれの立場で職責を果たしていける人材を育成していくことが急務であり、法人としてのミッションを職員全員が十分に理解をして仕事に取り組めるよう、必要な研修を体系的に実施し、職員自ら研修に参加することを目標とした。				
	取組内容	※目標達成のための具体的な取組内容等について記入してください。 ①適切な人材配置。 ②新たな雇用形態の検討。 ③人材育成のための研修の充実。 ④これらの課題と取り組みを職員間で共有し、効率よく仕事ができるよう、働き方や意識の改革を推進する。				